

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470801208	事業の開始年月日	平成18年3月1日
		指定年月日	平成18年3月1日
法人名	社会福祉法人横浜長寿会		
事業所名	グループホームぬくもりの家・金沢文庫		
所在地	( 236-0014 ) 横浜市金沢区寺前2-23-35		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	9名
		ユニット数	1 ユニット
自己評価作成日	平成23年2月16日	評価結果 市町村受理日	平成23年6月23日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1470801208&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1470801208&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「金沢文庫」で有名な称名寺に近い、温かみのある伝統的な住宅地に位置しています。「ゆっくり・ゆったり・私らしく」を理念に置き、お一人お1人が自分らしさや誇りを持ちながら、「ほっ」と安心でき、人のぬくもりを感じながら生活していただけるよう、スタッフ一同、心をこめてサービスを提供しています。
---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成23年4月28日	評価機関 評価決定日	平成23年5月30日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「ぬくもりの家・金沢文庫」は、県立金沢文庫近くの住宅街に位置しています。京急金沢文庫から徒歩で12分位と便利な場所にあり、入居者のお友達やご家族の頻繁な来訪をうけながら運営されています。 <事業所の優れている点> 利用者を知ることによる徹した支援 利用者とは、家族に近い信頼関係が築かれています。また利用者の家族も同様に職員を信頼し、職員と一緒に利用者支援の協力関係が築かれています。職員は、頻りに利用者の居室を訪れて話しかけたり、食事の後片付けなど、普通の生活の中での話し合いを通して「見る、聞く、気づく」の力で利用者の思いなどを知り、理解することに努めています。介護計画の作成でも、利用者や家族の意向を汲み取り、それに添った支援方針や目標や介護内容を立案しています。居室を訪れた時や、食事のあと片付けの時などの利用者の振る舞いには、自立した生活と共同生活を楽しまれている様子が窺えます。 <事業所の工夫している点> 自然な流れの運営 日常の個々のサービスの提供においても、利用者の希望に添った普通の生活を基本に、一人ひとりの「日課計画表」を作り、散歩や入浴、食事、排泄などのサービスを「ゆっくり、ゆったり、私らしく」自然な流れの中で提供するように工夫しています。
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームぬくもりの家・金沢文庫
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会議の場で理念の確認を図ると共に、日々のサービス提供時にも、「ゆっくり・ゆったり・私らしく」の言葉を声にながら、実践につなげています。	開所時に作られたホーム独自の理念が当時のまま引き継がれ、全職員にサービスの振返りの原点として共有化されています。利用者と職員が交わす会話や振る舞いにも「ゆっくり、ゆったり、私らしく」が実践されている様子が見られます。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、回覧板を回してもらったり、地域の高齢者の集まりに声をかけてもらい参加したり、地域行事にも出かけています。また、毎日の散歩や買い物で地域の方達とも顔見知りの関係が出来ています。	目と鼻の先程の距離に自治会館があり、そこで開かれる「ふれあいサロン」に招かれ、地域の高齢者の方々との交流を図っています。次年度からは運営推進会議で、町内会長や民生委員に地域の代表として、協力が得られることになっています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事への参加や日常生活の中での地域の方々との自然なふれあいを通し、認知症の方々の理解を得ただけよう取り組んでいます。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、まだ開催しておらず、現在準備中です。	今年度の開催には至りませんでした。消防署の強い勧めもあり、23年度の6月16日に第1回の会議を開催する予定になっています。	運営推進会議の円滑な運営と開催の継続を目的とした、推進会議の運営規程を制定し、事業所の運営規程にも推進会議設置の条項を追加されることが期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政から案内のあった各種研修に参加をしたり、区の担当ケースワーカーへご利用者のご様子を報告、アドバイスをいただきながら関係を築くように努めています。	運営推進会議の開催についても、区役所の担当者に相談し、指導を受けています。日頃、地区のケースワーカーの来訪を受けたり、区の生活保護の担当者を訪ねるなど協力関係を築いています。また研修会の案内もあり職員の受講に繋がっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	変わっていく御利用者の様子を職員が情報を共有し、検討ながら、閉塞感のない、安全な暮らしを続けていただけるよう取り組んでいます。	事業所では、「私らしく」という理念に基づき身体拘束をしないケアを実践しています。しかし、そのケアの充実化を目指した前年度の「目標達成計画」にあるマニュアル整備や職員教育の仕組み作りの改善活動が未着手となっています。	リスクマネジメントの観点から、事業所の管理体制の確立に向け、前年度の目標達成計画に再度取組まれ、マニュアルの整備や仕組み作りの目標達成を期待します。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉の暴力等も含め会議の中で話し合う機会を持ちながら防止に努めるとともに、市より配布されたパンフレットを閲覧し、啓蒙に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修に参加し、学ぶ機会を設け、理解し、必要に応じ支援につなげていけるよう努めています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約内容や重要事項についての説明を行い、御家族、御利用者の入居に対する心配な点や不安なこと、要望等お聞きしながら、安心して入居していただけるようしています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族来訪時の声かけやお手紙により、意見・要望・苦情等何でも伝えていただけるよう働きかけています。また、日常の会話の中で御利用者の意見・要望等職員が聞き漏らさないようにし、それらを会議の中で話し合い、サービスへとつなげています。	訪問記録簿から家族の頻繁な来訪状況が窺え、管理者や職員との意見交換の機会の多さが推測されます。事業所は、毎月手紙で家族へ利用者の医療情報や生活状況を伝えており、カンファレンスでの意見や要望の話し合いの糸口にもなっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の前に職員より意見を募り、話し合う場を設けたり、意見の内容によって法人事業本部へ現場の声として持って行き、組織的な実行・実現へつなげていけるよう取り組んでいます。	管理者と職員は、月次ミーティングなどで自由に意見の交換や提案が行われています。イベントの年次計画などにも反映されています。例えば、ケーキを食べ皆で祝う誕生会が、観劇などのご本人の希望や想いを叶える本人主体の企画になっています。	立案や実行では、職員の意見が反映されています。サービスの質の評価や改善活動にも職員の参加が不可欠です。外部評価の自己評価作成に職員の参加が期待されます。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人の中に人材育成推進委員会を設け、働きやすい職場、育成成長できる職場、やりがいを感じられる職場を目指し取り組んでいます。その中で、介護報酬上の問題もあり、厳しい経営状況ですが、給与待遇条件や労働時間等勤務環境にも十分な配慮をし、より良いサービスをの提供できるよう努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の案内を閲覧し、希望する職員に参加してもらったり、適切な職員に参加の声かけを行うとともに、法人内に人材育成推進委員会を設置運営し、職員が育成成長できる職場となれるよう取り組んでいます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市のグループホーム連絡会に加入し、研修を通し情報交換を行い、サービスの質を向上させていくよう取り組んでいます。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や事前の面接時に御本人の思いを知り、不安や戸惑いを和らげていただけるよう努めるとともに、安心して生活を始めていただけるよう、何でも話せる雰囲気をつくるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	連絡を密にし、御家族の不安・悩みを受け止め、御本人との関係を築くことで安心感を持っていただけるよう努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に御本人や御家族の要望、生活習慣、趣味、嗜好等伺い、必要なサービスを受けることができるよう、職員が情報を共有しながら対応に努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々のそれまでの人生で培ってきたもの、今出来ることを大切にしながら、感謝の気持ちを伝え、共に暮らす関係を築いていけるようにしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御本人の御様子をこまめにお伝えし、御家族のお話にも耳を傾け、協力しながら御本人の生活を支えていけるような関係作りを行っています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御友人が気持ちよく来訪していただけるよう努めています。また、電話の取次ぎでは、お部屋でゆっくりとお話していただけるよう配慮しています。	利用者の馴染みの情報は、入所時やその後の会話を通して収集し、職員間での共有も図っています。これらの情報を基に、毎週訪ねて来られるお友達への対応や、電話の取次ぎなどには、馴染みの関係の継続化を念頭に細やかな支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の会話や散歩、生活の営みの中で、互いに協力し、理解し合い、馴染みの関係を築いていけるよう支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御利用が終わった後も電話相談や、街でお会いしたときには御様子をお聞きする等経過をフォローする等努めています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の会話や表情等から御本人の思いや要望を汲み取り、申し送りや会議の中で話し合い、できる限り御本人の御希望に沿った暮らしを送っていただけるよう支援しています。	頻繁に利用者の居室を訪問し話かけたり、家族の訪問時はお茶出しがてら利用者の日頃の様子のお話をしたりしながら利用者の意向をくみ取るよう努めています。また、日頃もゆったり話しかけることにより利用者の希望などを引き出すよう気をつけています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に御本人の生活歴の情報を得ると共に、日々の会話の中で知ったこと等、申し送りや記録等で情報を共有し、サービスへつなげられるよう努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	会話や表情、毎日の観察、働きかけにより、変化を見すごさないようにし、新しい発見等を申し送りや記録等で職員が情報を共有するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	御本人や御家族から日々の暮らしへの要望を聞くと共に、職員より情報を得、より良い暮らしを送っていただけるよう介護計画を作成しています。	申し送りノート、ケア記録、日々の職員からの話しをもとに介護計画の作成、見直しを行っています。また普段の生活を基本に介護計画を組み入れた「日課計画表」を作成しています。今後は月1回の個別対応会議を開く事になっています。	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	毎日のバイタルや、食事摂取量、排便状況、お過ごし仕方等記録に残し情報を共有する共に、会議の中で意見を出し合いながら、実践につなげています。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	管理者はいつでも動ける状況に置き、そのとき必要なニーズに柔軟に対応できるように体制をとり、支援に取り組んでいます。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域の美容院やお店を利用し、地域の中で生活していくことを大切にしながら、支援しています。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	一人一人の希望に応じてかかりつけ医を決め、受診しています。緊急時にはかかりつけ医と連携しながら速やかな対応が取れるよう支援しています。	かかりつけ医にかかっている利用者とは月2回の訪問医にかかっている利用者がいます。かかりつけ医にかかる場合は管理者が同行しています。受診状況は引き継ぎノートに記載すると共に月1回の個別のお便りに載せたり家族の訪問時に話をしたりしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員はいませんが、日々の健康観察を行い、受診時にかかりつけ医に報告すると共に、緊急時にはかかりつけ医に相談し、速やかに適切な医療を受けることができるよう支援しています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、職員が同行し、必要な情報をお渡しし、安心して入院治療できるよう支援しています。退院許可が出たときには速やかに受け入れができるよう、入院中はこまめに病院へ様子を伺うようにしています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化しつつある御利用者については、ホームで出来ることと出来ないことを説明し、御家族、主治医等と相談しながら方針を立て、職員でそのことを共有しながら支援しています。</p>	<p>現在は医療連携もなく看取りができる状況ではありませんが、自然の流れの中で看取る事ができれば看取りたいと考えています。看取りの体制をとる事ができるよう、医療連携、看取り可算など法人本部に対して体制作りの協力を依頼中です。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時には管理者へすぐに連絡をとる体制をとり、指示に従い動けるようにしています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を重ねることで、問題点を把握し、十分な対策を考えていきたいと思えます。</p>	<p>今年度は自動通報装置を設置しています。事業所内で消火、通報、避難訓練を計画実施し反省会を行っています。夜間は自主点検票に沿って避難障害物、誘導灯、消火器設置適性位置などの確認を毎回行っています。</p>	<p>避難訓練は事業所単独で行われていますが、消防署、地域などの参加を求めて実施される事を期待します。またスプリンクラー設置についても関係者と協議される事を期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御利用者の誇りを傷つけないよう、一人一人に合った言葉かけを心がけています。また、プライバシーを尊重した対応を心がけています。	人格を尊重しプライドやプライバシーを損ねない支援をするために、職員は、利用者の思いや意向の把握とその理解に努めています。日常の会話や徘徊的行動への対応、服装やお化粧品などの整容、居室の環境作りなどにも細かく気を配っています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境を作り、会話や表情から御本人の思いを汲み取り、意向に沿った暮らしをしていただけるよう支援しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな一日の流れはあるが、その中で、御本人の意向に沿ったお過ごしができるよう支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御本人の好みを知り、お好きな服装やおしゃれをしていただけるよう支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材を切ったり、味見をしていただいたり、盛り付け、食器拭き等一緒にしていただき、会話を楽しみながら感謝の気持ちを表しながら一緒に行っています。	メニューや食材は、業者に依存しているので、利用者の希望や好みの反映は難しいが、調理や盛り付け時に好みの味に応えたり、お寿司などを行事食として楽しんで貰っています。おやつは、職員の手作りや利用者の希望の品を買い提供しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立と食材を外部に委託し、カロリーと栄養のバランスのとれた食事の提供をしています。また、熱いものが好きな方、ぬるめが好きな方、盛り付け方の好み、咀嚼力等把握し、一人一人に応じた支援をしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の声かけを行い、介助の必要な方へは出来ないところを支援し、口腔ケアに努めています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>申し送りや、会議等で一人一人の排泄パターンを職員で共有し、トイレでの排泄を基本に支援しています。</p>	<p>排泄の自立化されている利用者が殆どで、排泄表の記録は行われていません。一人ひとりの排泄パターンなどの情報を職員間で共有して、トイレでの排泄を基本とした自立化の支援を行っています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日の散歩等の運動を心がけると共に、便秘がちな方へは、かかりつけ医と相談し、便秘薬の調整を行いながら便秘の予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>お風呂は午後毎日沸かし、早い時間の入浴を好む方、そうでない方、毎日入りたい方、そうでない方のタイミングをみながら個々にあわせて入浴していただいています。</p>	<p>入浴日や入浴時間帯の制限を全く行っておりません。一般の家庭が、毎日好きな時間に入浴することを当たり前と考え、自宅生活の継続を基本とした支援をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	早く起きたい方、遅くまで寝ていたい方、早く休みたい方、遅くまで起きていたい方等一人一人の習慣を尊重しています。また、日中もお一人お一人の生活のペースに合わせて休息をとっていただけるよう支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更や追加があったときには申し送り、体調の変化を観察していくと共に、薬の目的・用法を理解し、管理・服薬の支援をし、体調観察に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テレビが好きな方、お話が好きな方、歌が好きな方、仕事が好きな方等、一人一人の出来ること、好きなことを把握し、一人一人の生活のペースで生活ができるよう支援しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩や、御利用者の希望で近所の商店へ買い物に行ったり、ドライブへ行ったりと一人一人の希望に沿って外出できるよう支援に努めています。	毎日の散歩は、職員1人に利用者1~2人の組み合わせで午前中に近隣を散策しています。雨天や暑い日は、ホームの廊下を歩いたり、歌を歌って楽しんでいます。外出嫌いの利用者には、かかりつけ医への受診に外出の要素を加味して支援しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族の承諾のもと、御自分でお小遣いを持っていないと不安な方は御自分で持ってもらるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御希望のある方には、子機を使い御自分のお部屋でゆっくりと電話していただけるよう支援したり、携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいます。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な家具を置き、ホッとできるような空間作りを心がけています。	共同生活の場とは言え、家庭的な雰囲気が漂っています。玄関を入れてグループホームと感ずるのは、家族の来訪記録簿や外出用の車椅子があるくらいで、廊下や居間などの壁には殆ど掲示物がなく、トイレもリビングなどから視野の外にあります。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの一角にソファを置き、一人になりたいときや、他の人と離れたいときなど過ごせる場を設けています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に今まで使い慣れたもの、こだわりを持っているものをお持ちいただくようお話しています。	拜見したどの部屋からも、利用者一人ひとりの個性が感じられ、利用者の馴染みの物や、家族が買い揃えた物などが持ち込まれています。利用者が笑顔で自室を披露してくれたのが印象的で、家族も居心地よい居室作りに協力的な様子が窺えます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リビングや廊下のカレンダーは、過ぎた日を消していき、今日が何日かわかるようにしたり、お部屋のドアにはそれぞれのお好きな目印を貼るなど工夫しています。		

## 目標達成計画

作成日: 平成23年6月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組みが未実施である	運営推進会議の円滑な運営を行い、地域や御家族との関係を深め、様々な御意見をいただきながら、サービスの向上へつなげていく。	6月に第一回推進会議を実施。今後、定期的に取り組んでいけるよう努めていく。	12ヶ月
2	6 7	昨年度よりマニュアルの整備を行っているが、未完成である。	マニュアルを整備することで、安定したサービスの提供を目指し、職員の資質向上を昨年度に続き目標とする。	会議の中でマニュアルの意味を職員と一つ一つ確認しながら、整備を行っていく。	6ヶ月
3	35	避難訓練は行っているが、地域の方を交えた訓練が出来ていない	地域の方を交えた訓練を行いながら、問題点を一つひとつ確認していき、利用者の安全を守れるようにしていく。	運営推進会議を利用し、地域の方にも呼びかけを行い、消防署の協力もいただきながら取り組んでいく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。